

# 議員提案「いただきます条例」

1/22 (土)  
常陽

## 守谷市産優先で地産地消

地産地消と食育の連携を図り、食を通じた魅力あるまちづくりを推進しようと、守谷市12月議会に「市いいただきます条例」が議員提案されている。可決されれば来年4月から施行される。

梅木伸治副議長（無所属）が19日提案。市内の農畜産物生産者、食品加工業者、流通業者、飲食店などと市民や行政が一体となって地産地消に取り組み、食に関する地場産業の振興を図ろうという理念を定めた条例だ。

生産者には、食品の安全性を確保するよう求め、市民には守谷産の食品を優先して食べよう求めている。市に対しては、地産地消を推進するため「守谷

生まれの食品推進協議会」を設置し、家庭や学校、地域で食育を推進する施策を実施するよう求めている。

提案した梅木副議長は「小学生にも分かりやすい条例を作りたいという思いから『いただきます』という名称にした。家族が食卓を囲んで『これが守谷産のホウレンソウだよ』などとほのぼのした会話を弾ませ、守谷の魅力を再発見しながら家族や地域の絆を築くことができれば」と話している。

地産地消の推進に関しては、笠間市や石岡市などが地酒や笠間焼の器の消費を促す「乾杯条例」などを制定しているという。

（鈴木宏子）